

【学校祭報告】

9月16日（金）に、3年ぶりとなる学校祭（北保祭）が開催されました。残念ながら臨床実習のため一部の学生が参加できませんでしたが、久しぶりに学生同士が学科や学年の垣根を越えて笑顔や真剣な表情で競技に参加したり、応援する様子を見ることができました。本来なら保護者や一般の方々をお招きし、学生主体による様々な催しを発表する機会になるところですが、コロナ禍による予断を許さない状況下での企画運営を余儀なくされました。

学校祭開催にあたり、感染対策を十分に配慮したかたちで、どのような北保祭が実施できるのか、多くの制約に阻まれながらの企画会議を繰り返し、何とか開催に漕ぎ着けることができました。学校祭の開催目的は「交流」とし、できるだけ多くの学生が楽しく交流できることを柱として、各クラスから募った学校祭準備委員でZOOMやLINEを活用しながら協議しました。

参加対象を本校の学生教職員のみとし、学生による模擬店は中止（代わりにキッチンカーを依頼）し、感染対策を講じたプログラム内容を検討しました。球技大会、運動会、男装女装コンテスト、ビンゴ大会など、かなり盛沢山の内容となりました。

準備委員会として、多くの準備・配慮不足があったものと思いますが、参加した学生が実際にどの様なことを感じてくれたのかは、11月11日を期日としたアンケート調査の結果を待ちたいと思います。

世の中では、様々な情報へのアクセスが簡単にできる反面、人間関係が希薄で、過度な個人主義（自分が好む人・物事としか関わろうとしない）や自己中心的な振舞いを実感することが多くなっています。

将来、医療や福祉の現場で働く者として、他者への能動的な貢献や自身に求められている役割を感じ取り行動に移すことができる自己指導能力を引き出すきっかけになっていることを切に願うばかりです。

文責 学生委員長 川上和敏

